

広 報

ふじかわ

町のメモ

昭和57年10月1日現在	
人口	16,958人
増減	0人
男	8,388人
女	8,570人
世帯数	4,308世帯
面積	31.09km ²

富士川町 総務課

10月号 昭和57年10月20日発行

No. 255

町の今年の目標
「笑顔であいさつ明るい町に」



おい、早く釣れよ

(表紙のことは2ページに)

耐震補強計画委託料や生活関連事業を中心に7,390万円を補正

昭和57年度の一般会計予算総額は26億1,420万円

町議会の9月定例会は、9月16日(木)午前9時から議場で開催され、常葉町長の一般行政報告を皮切りに、昭和56年度富士川町一般・国保・土地取得・水道会計歳入歳出決算の認定や、昭和57年度一般・国保・土地取得特別会計補正予算、教育委員の任命につき同意を求めることについて、富士川町課室設置条例の一部を改正する条例について(機構改革)など、十三議案が審議され、議会最終日の18日(土)にはすべて原案どおり可決されました。

昭和57年度一般会計予算は生活関連事業と耐震補強計画委託料などを中心に七千三百九

一般行政報告

●共立蒲原総合病院の建設経過は病院の新築については順調に進んでおり、すでに看護学院、看護婦寮、医師住宅なども発注されました。また、病院内の植樹などについては、グリーンバンクを利用する計画です。

●中野企業局の宅地分譲事業は進捗率が九四割

●国一富士川橋の架替えと災害復旧は

十万円を補正、予算総額は二十六億一千四百二十万円となりました。また国保特別会計は保険給付費へ療養の給付、高額療養費の増を中心に四千八百八十八万円を補正、予算総額は四億四千五百八十四万円となりました。

●国一富士川橋の架替えと災害復旧は

●国一富士川橋の架替えと災害復旧は

●国一富士川橋の架替えと災害復旧は

一般会計の補正内容

- 農免岩淵調査設計委託料へ 二百三十万円
- 沖田農道舗装他補修用原材料費 他へ 百万円
- 野田山開発揚水試験調査委託料 他へ 二百八十二万円
- 土庫費へ二千四百四万円
- 公共市場清水線改良工事用地取得費他二件へ 一千四百七十五万円
- 農林水産業費へ 七百四十八万円
- 公共上町小山線改良工事に伴う水道管および電柱移設費他二件へ 四百三十八万円
- 第一小学校耐震補強計画委託料 他へ 三百六十九万円
- 地区公民館建設補助費へ百万円
- 災害復旧費へ二百十万円
- 台風一〇号による応急工事費へ(農免崩土取除き他四件) 百万円
- 単独災害復旧費へ 百万円

産業振興課が誕生

行政サービスの高度化や行政需要の質的变化に対応するため、企画財政・行政管理の画一化、電算事務の実務化、建設・経済部門の機能再編による産業振興の確立をはかり、10月1日から町民サービスにあたります。なお、この機構改革の主なもの、企画開発課の

秋晴の10月

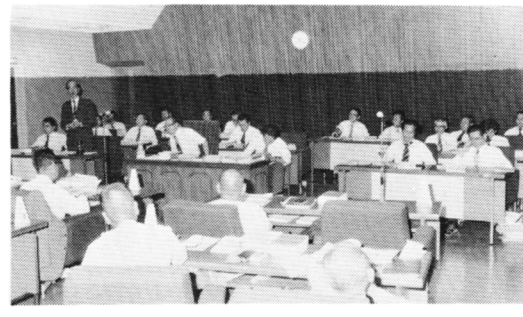
秋晴れの10月10日、町をあげてのスポーツの祭典である「町民体育大会」は、十七チームが参加して、町立第一中学校グラウンドで行われた。午前8時、各区選手団の入場、開会式。午前8時45分、競技開始。競技が進むにつれ、各区の得点争いは烈をきわめ、最終種目の年齢別リレーで優勝した東町・日の出町チームが二十三点を獲得して総合優勝、相生町チームが準優勝という結果となった。

職員の異動

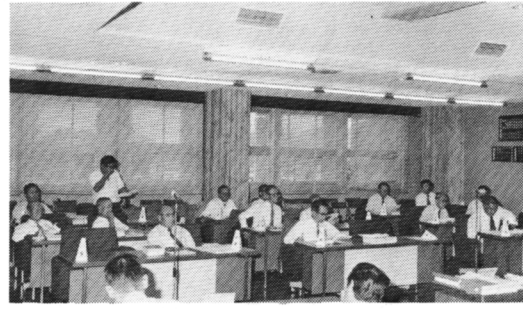
- 10月1日付で町職員の人事異動が次のとおり行われました。この異動は、機構改革にもなっており行われたもので、前回から管理検査課長事務取扱を兼ていました常盤登助役も同事務取扱を解かれています。
- 課長 清 泰二
 - 主任 大木靖也
 - 管理検査課 佐山繁雄
 - 産業振興課 谷 一郎
 - 係長 蓮池道江
 - 主査 若月正己
 - 総務課 若月真査広
 - 建設課 神戸玉清
 - 産業振興課 入沢隆枝
 - 主任 白井陽子
 - 総務課 惣野代 隆
 - 産業振興課 太田達也
 - 係長 木伏貴彦
 - 主査 木伏とも子
 - 臨時職員 稲葉 準一
 - 管理検査課 新田美農留
 - 退職者 (9月30日付) 久保田安男
 - 加藤 勲

野田山開発の本年度工事は天野園芸株に発注

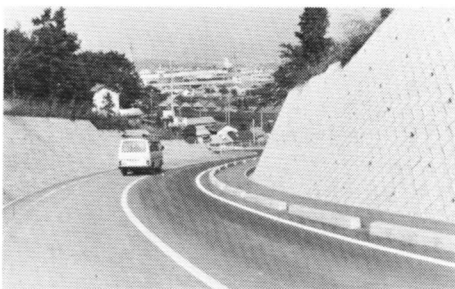
この計画は、自然を生かしながら、町民のみなさんの憩いの場所とするを目的としています。公園および遊歩道整備については過日発注され、天野園芸株式会社が発注することになりました。さらに本年度工事としては、施設の一部を発注します。



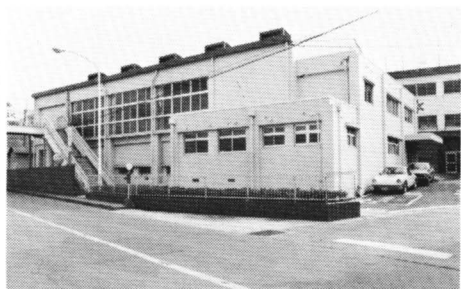
●青年の非行防止に全町をあげて万全を期す



▶病院に続く幸町大栗窪線



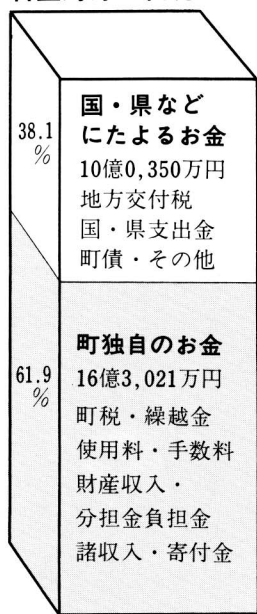
▶第二小学校体育館



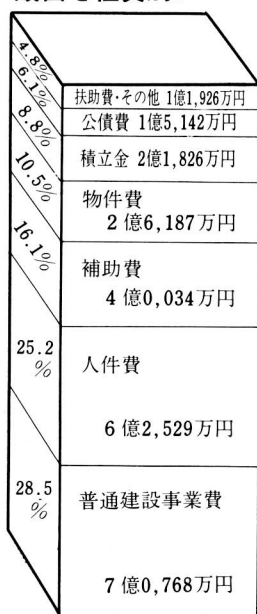
▶幅員も広がった明見橋



自主財源の状況



歳出を性質別に



自主財源は 六一・九%

まず歳入からみてみましょう。歳入では、みなさんや事業所から納められる町税が最も多く、全体の四五・八割を占めています。つぎに地方交付税一七・九割、国庫支出金八・五割、県支出金六・七割、繰越金五・六割、諸収入三・二割となりま。

ところで、町の財政力を示す自主財源の収入額に対する割合はどうなっているのでしょうか。これについてみてみると、自主財源の収

歳出のトップ

まずは、歳出をみることにしましょう。

まず歳出の構成比をみると、総務費がトップで、全体の二二・四割を占め、ついで教育費二一・五割、衛生費一一・七割、民生費一〇・五割、土木費九・七割、農林

水産業費九・〇割、消防費六・四割、公債費六・一割、その他二・七割の順となっています。

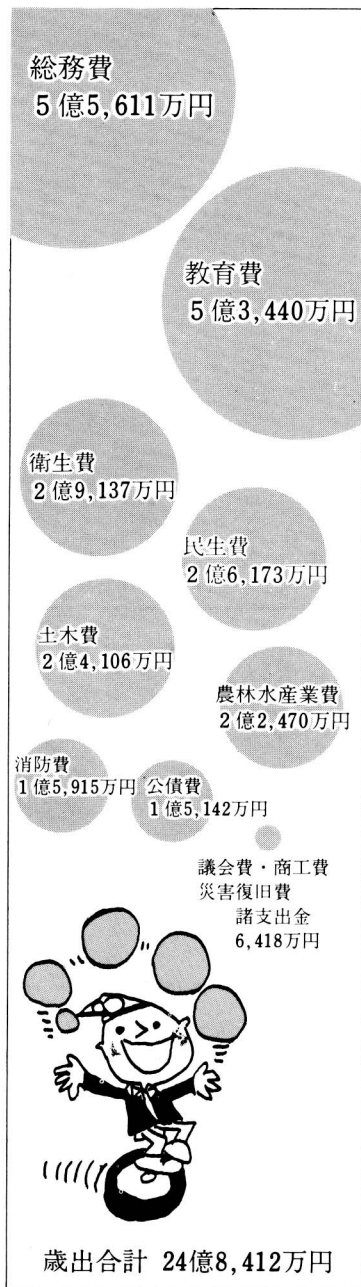
つぎに歳出を性質別に分けみると、普通建設事業費が一番多く全体の二八・五割です。この内容をみると――

役場前駐車場防水・補強改修工事、広報無線受信局(宮町・東町二・幸町)新設工事、農免農道工事、川坂山農道改良工事、谷津・矢久保排水路工事、林道小塚線工事、町道幸町大栗窪線工事、上町小山線付帯工事、血流川左岸道路改良工事、富士川蒲原線工事、富

土川由比線拡幅工事、明見橋改築工事、新町都市下水路工事、寺沢護岸改修工事、防火水槽工事(大北・吉津・四十九)防災倉庫建設工事(一中)二小体育館建設工事などが主なものです。

ついで町職員の人件費が二五・二割、補助費が一六・一割、物件費が一〇・五割、積立金が八・八割、この中には中央公民館建設積立金として一億一千五百万円も含まれています。続いて公債費が六・一割、生活保護費などの補助費が三・二割、その他が一・六割

一般会計目



昭和56年度 町の家計簿

町で使ったお金 三億三、七二五万円

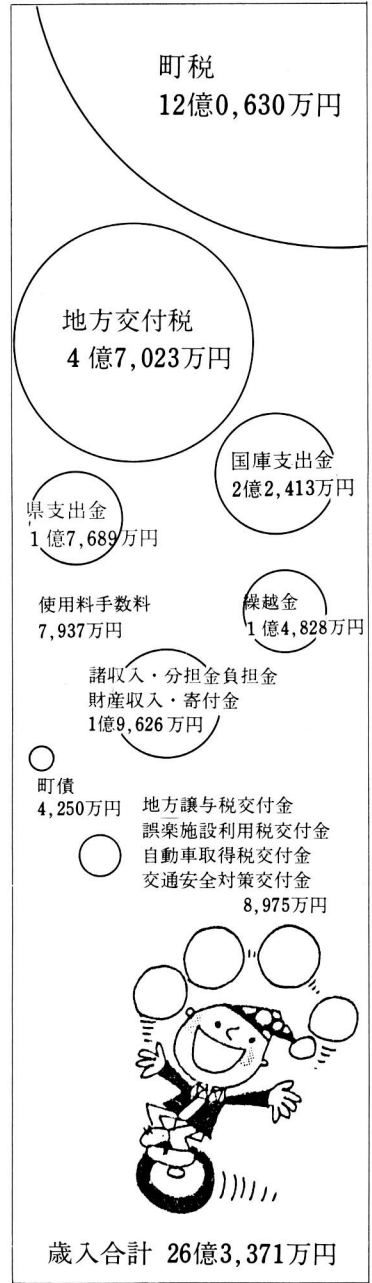
昭和56年度 町のけっさん

	歳入	歳出
一般会計	26億3,371万円	24億8,412万円
国民健康保険	3億8,268万円	3億7,552万円
土地取得	1億7,055万円	1億0,105万円
水道事業		
収益的収支	1億2,536万円	1億2,002万円
資本的収支	3,445万円	5,644万円

主な事業



別の状況



私たちのまち、富士川町の昭和56年度の決算が、町議会の9月定例会で審議され、収支が正確に行われていることと認定されました。そこで、この内容について少し話してみたいと思います。

私たちの身近な環境を整理し「明るく豊かな住みよい町づくり」のための町の台所は、みなさんの税金や国、県の補助金などでまかなっています。昨年度はどうだったでしょうか。ここで振り返ってみましょう。なお、詳細については、12月に「財政事情の公表」を発行します。

一般会計決算に触れる前に、特別会計決算について少しみなさんに話してみます。

まず国民健康保険会計は、歳入額三億八千二百六十八万円に対し、歳出額は三億七千五百五十二万円

となり、七百十六万円が昭和57年度へ繰越されました。国保の歳出でトップを占める保険給付金(三億二千三百九十一万円)をみると、この中には診療報酬支払いがあります。これは、みなさんが病院に

かかった時、三割分は自己負担ですが、残りの七割の国保負担分のことです。その他にも高額療養費、助産諸費などがあります。

つぎに土地取得会計は、歳入額一億七千五百五十五万円、歳出額一億五百五十九万円、差引額六千九百四十九万円が昭和57年度へ繰越されました。

最後に、水道事業企業会計を収益的収支勘定と資本的収支勘定に分けて説明します。収益的収支勘定では、収入額一億二千五百三十六万円、支出額一億二千二万円となり、差引額五百三十四万円が純利益となります。また資本的収支勘定は、収入額三千四百四十五万円、支出額五千六百四十四万円となり、差引額二千九十九万円の赤字となりました。この不足財源は、昭和56年度損益勘定留保資金と昭和56年度利益剰余金処分額で補てんしました。

では一般会計に移ることにします。一般会計は、歳入額二十六億三千三百七十一万円に対して歳出額二十四億八千四百二十二万円となり、昭和57年度へ繰越額は一億四千九百五十九万円となりました。

これは昨年度の繰越額(一億四千八百二十八万円)を百三十万円ほど上回っています。

歳入は、予算現額(二十五億六千九百一十万円)に対して一〇・二・五割の収入率です。一方、歳出は予算現額(二十五億六千九百一十万円)に対して九六・七割の執行率となっています。

収入率増加の主な原因についてみると、みなさんの納税意識の高揚による町税の増加や地方譲与税・自動車取得交付金などの増があります。

一般会計収入率は 一〇二・五%

今月のテーマ

広報ディスプレイ

私が出あった一冊の本

心が清い人

「エレファントマン」

第一中学校二年 山本昌希くん
みなさんは、外見でその人を判断したり、見た目で値うちまで勝手に決めたりしていませんか。ほくが知っている中でも、ほとんどが人を見る目、真の目がないような気がします。そんな様子が、まざまざとあらわれた物語「エレ



提言者 曾我久子さん

子どものころ、私は本好きな女の子だった。童話、神話、名作、偉人伝―手当たり次第むさぼるように読んだ。小学校五・六年の時に推理小説やSF(空想科学)小説に熱中し、毎週土曜日の本貸出日には必ず二冊の本を貸り「江戸川乱歩」や「月世界探険」などに胸

ファントマン」は、ほくの心の中に大きな風穴を開けたような感じがした。

物語の中で、外見のみにくいエレファントマンを一般の人に見せ物にした。一般の人の反応も、見苦しいものでした。この関係は見せ物にした人の方がよほど怪物でエレファントマンは子どものように純粹で心の清い「人間」です。そんな確証が、ほくの中にあり感

動した。エレファントマンは、人間として認めてほしくて、勇氣ある死を自ら選び、静かに優しく生を終えた。ほくは悲しかった。だが、なぜエレファントマンは死ななければならなかったのか。しかたないことだったのだろうか。

みなさんも心の目を開いて、外見だけで軽々と人を判断しない人間になってほしい。

「平家物語」には

日本人の無常感がある

舟山町 植松良三さん(63)

「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響あり。娑羅双樹の花の色、盛者必衰の理を顕す。奢れる人も久しからず。ただ春の夜の夢の如し」

躍らせた。中学になって、長姉の勧めで読んだパールバックの「大地」では、開拓農民の力強い生き方に感動もした。しかし、年とともに読む本の数も減り、結婚し子育てに追われていたころは、本とは縁遠くなっていた。今、子どもも手が掛からなくなり、また本を読む時間を取りもせられ、床についてから読む本はいっしかり子守歌になりバサツと顔の上に落とすこともたびたび、夜が白むまで読んだ昔を思い出し、一人苦

笑する。そんな中で子どものころ読んだ名作がアニメ化され、テレビ放映されると少女時代の自分がとても懐しく重なる。活字から脳にしみ込んだ物語は何かの折、鮮かによみがえるらしい。活字離れといわれる今、我が子にも一冊でも多くの本を読み、心の糧とし、生涯の良き友としてほしいものである。

時候は秋、あなたも今夜はテレビのスイッチを切り、秋の夜長を本と親しんでみませんか。

11月のテーマ

変りゆく富士川

私の思い出の中から

私は、数えて八〇歳。富士川の思い出の中で、第一には本流が岩淵側に流れるようになったことがある。昔から本流は、水神さんの岩にぶつかり富士側を流れ変ることがなかったが、8月2日と9月12日の台風による増水で、坂下の堤防の根を決壊寸前の状態にまで変えてしまった。昔は工事をするとびに水を平らに流すことに務めたものが、最近の工事はどうも一カ所を深くするように思われる。そのため大被害になるのではないだろうか。それにっけ思いつくのは、舟山町・坂下

で、祖父母もいた大家族でした。三世代が同居して生活する中に、年寄りから教えられるものがあり、自然に身についたものです。そんな環境の中にいながらも、父は自分なりに子育ての勉強をしていたのだろうか。子どものころの両親のきびしきは今も忘れられません。

よく、子どもは親の作品だといわれます。良くも悪くも親が作りあげるものなら、親はもつと姿勢を正して取組まなければならぬでしょう。本の中に「我が子の教育は、何でもないことのように実は大事業であり、容易な業のように実は至難の業である。何故なら、それには国家万年の大計がかかっている」とあります。

親として、子どもに正しい後姿をみせるためには、一度しかない人生をりりしく前向きに生きたいと思えます。

コーヒー通の私には

「珈琲交響楽」がピッタリ

小山 木村浩策さん(76)

先ごろ、東京の次男の嫁が送ってくれた「珈琲交響楽」を、また出して眺めている。みごとにスプーン、華麗なカップなどを見ていただけで嬉しくなる。このようなカップとスプーンでコーヒーを飲んだらどんなだろうと思う。

私とコーヒーの付合は、もう六十年になる。関東大震災の前、銀座滝山町のパウリスタという店に、今は亡き長兄に連れていってもらって初めてホロ苦い味を覚えた。近ごろは出掛けることもめんどろで、もっぱら家で入れて飲んでいる。種々の豆を挽いてブレンドしたり、またストレートにしたり、一人分ではおおいくないので嫁に付合せている。

「珈琲交響楽」は、こんなコーヒー好きの私に夢を見せてくれる本で、折にふれ、また退屈すると眺めている。

「徳川家康」に

歴史の流れを感じた

高町 佐野文子(33)

高校三年生のころ本棚にいかめしく並んでいた「徳川家康」(山岡荘八著)全二十六巻。何げなく一冊を読み始めてから半年以上かかったと思う。読み終わった時の満足感、そして作者への驚嘆。十八年間を費やし、家康という一人の人間とそれを取り巻く歴史の流れの中で、人々が求める「平和」をテーマに、祈りをこめて書き進んできたという。私はこの本に時代

を越えて深い感銘を受けた。その当時、静岡に通学していた私は、毎朝駿府公園を歩いていたが、この本を読み進むにつれて通学路で

ある駿府城にも昔の人々がそれぞれ生活の営み、そして生きてきたという歴史の流れと重さをずっしりと感じる事ができた。あれから今までに五、六回は読んだろうか。そのたびに泣いたり笑ったりして読んできた。ここ数年「歴史と旅」という月刊誌を興味深く楽しく読んでいるのも、この「徳川家康」あればこそである。

「黒い雨」は

子どもにも読ませたい

東町一 堀池美恵子さん(38)

私が学生の時「黒い雨」(井伏鱒二著)を始めて読んで、怒りと悲しみだけが残り、今、また二児の母親となつて読み返すと、子どもには必ず読ませる義務があると思えます。

原爆の恐ろしさ悲慘さを淡々と語っている内容にも、自分の身を守るため一杯一杯の姿がけ合つてゆく善良な人たちの姿が清らかに描かれていました。このすさまじい閃光が、人々の心を洗い流したのでしょうか。被爆した大勢の人々がつぶされた町、死体がゴロゴロしている中を、小さな力、小さな食べ物をわかち合ひながら目的地向かうのです。いつもと変らぬ暖かい心で接していくのです。それにしても代償が余りにも大きすぎました。私と一回りも

私はこの文章を旧制中学の四年生のころ習った思い出がある。「徒然草」「太平記」も教えられたが「古典平家」の名文には新鮮な印象を受けた。小学生のころ「青葉の笛」という唱歌を習ったので、この文章には深い共感がある。それは、日本人の無常感を最も強く語る名文だからである。戦後も吉川英治さんの「新平家」を読んで、敗戦の身に「戦争と平和」ということに対して一層の感慨を深くした。最近の経済優先の世相をみると、この本は何か警鐘を与えるようである。

古き良き日本を求め、平家が西国で亡びたことを思いながら「新豊院」の人たちと「西国巡礼」の旅に出たのは、去年の桜の散る季節であった。

愛と教育「母と子」に

父の教育姿勢をみた

中沢 田辺つぎ子さん(44)

私の今までの生き方に大きく影響した本は、私が中学時代に父の本箱から見つけた「愛の教育「母と子」という本で、表紙の写真に引かれて読みました。そして父の子育てに対する姿勢を見た思いがしました。本の中に「子どもの躰は遅くとも七歳までに基本的なことは教えなければならぬ」とあります。私の家は何代か続いた家

「風と共に去りぬ」には

人生のドラマがある

半在家 宇佐美裕子さん(40)

絵本や童話から卒業し乱読が始まったのは、小学二年の時父から贈られた「母をたずねて三千里」からだ。そして、中学時代に読んだ「風と共に去りぬ」は、理解し得なかつたが、なぜかスカレット・オハラに引きつけられ、もう一度読みたいと思いつつながら近やつと読み返すことができた。

南北戦争の勃発から奴隷解放と南部文明の崩壊を背景に、美貌で勝気な少女スカレットが、最初の恋にやぶれて三人の夫を送り迎える数奇な人生経路から本當の愛に目ざめてゆく。そしてすさまじい性格から、あるものは押しひきかれ、あるものは反発しながら変転きわまりない人生のドラマが繰り広げられていくさまは、すさまじい迫力であった。希望を失なわず困難に直面した時、口癖のようにつぶやく「明日考えよう」「明日は明日の陽が照る」このスカレットの人生哲学が私はとても好きである。



11月のテーマ

変りゆく富士川

私の思い出の中から

四百字づつ原稿用紙に一枚以内。

締切り日

11月8日(月)まで

投稿先・問合せ先

富士川町役場・総務課

ママさん記者が取材中

～富士川町文化協会～

県花「きんもくせい」の薫りが漂う中、10月4日、私たちは秀村医を訪問し、町文化協会の会長である秀村敏朗先生と甘露寺雄次郎望月八代の両副会長から文協のことについて、約二時間、いろいろな話をうかがいました。

会、華道部、フラワーデザイン部、手芸部、水石会、三味線鳴海会、現代詩部、絵画部、将棋部、きつ部、組むも部、盆裁部などの二十六部から成り立ち、一〇代、七〇代までが若者男女を問わず積極的に活動し、世代のつながりを深めています。さらにクラブごとの活動はそれぞれ計画的に行っていますが、本部事業としては、総会・役員研修会・文学史跡散歩・観月会・文協発行・町民文化祭の運営・文協通信などがあります。この中でも、文協（毎年11月3日発行）は今回で十七回目を発行することになり、内容はかなり充実していて意欲深いものです。

最後に、同会が今一番必要としているものは、底辺拡大のためにも研究の場、活動の場の拠点としての「中央公民館」だと、秀村会長、両副会長が口をそろえて強くおっしゃっていました。現在は青少年の非行問題、高齢化社会における寝たきり老人、ボケ老人の問題など、考えさせられることばかりです。会長さんがおっしゃるには、趣味をもつことにより、未来に明るい希望を持ち、生きがいを見つけ、若い人は非行に走らず、老人は過去の愚痴を言わず、家庭円満が保たれるとお話で、みなさんもぜひ、教養と趣味を身につけて家庭円満を保つため、一人でも多くグループに参加して欲しいとお願ひでした。初心者大歓迎、確実に指導してくださるそうです。入会を希望するみなさんは、役場の中にある文協事務局（民生課・佐野静雄）をおたずねください。指導者を紹介いたしますとのこと。また、新しいグループ作りもしていますので、現在、同会にないグループを組んでいるみなさんも、ぜひ参加して欲しいとのことです。

同会は、趣味をもっている人に悪人なしをモットーに、心のきれいな町づくりを願って活動しています。なごやかなうちに意義あるお話をたくさん聞かせていただき、心豊かに帰ってきました。

広報モニター 中沢 雅



右から秀村敏朗文協会長と中沢、曾我両モニター

同協会は、終戦直後からそれぞれ個々に活動していた約七つの同好会のようなグループ組織をまとめ昭和38年10月、故原田良之介氏・芦川守正氏・望月八代様・池谷九万夫氏などのお骨折りで、心のきれいな明るい町づくりの名のもとに、秀村先生を会長として発足しました。そして、今年でちょうど二十年目になります。

組織は、会長・副会長・参与・理事・監事などの役員を中心として会員五百二十六人が活動しています。またクラブは、写真部、読書会、短歌会、俳句会、書道部、邦楽部、コーラス部、劇団創炎、詩吟部、舞踊部、民謡部、囲碁同好

も多くのグループに参加して欲しいとお願ひでした。初心者大歓迎、確実に指導してくださるそうです。入会を希望するみなさんは、役場の中にある文協事務局（民生課・佐野静雄）をおたずねください。指導者を紹介いたしますとのこと。また、新しいグループ作りもしていますので、現在、同会にないグループを組んでいるみなさんも、ぜひ参加して欲しいとのことです。

「健康」ということばの分析をしてみると―― ◎体が充分なこと、すこやかなこと ◎すこやか健康なこと ◎健全物の考え方や行いがかたよらず正しいようす――となる。つまり、この二文字は、心身ともにすぐれている状態を指すのであり、単に肉体的にすぐれている状態を意味していない証明でもある。スポーツが人よりできるからといって、満心したり有頂点になるのはあまりにもなまけなしいし、体に比例した心の鍛錬が欠けている証明であるといえる。

近ごろ、スポーツに堪能で体はすこぶる丈夫な若者が、つまらない服装をしたり、流行を追ったハダな風体をしている姿を見かける。このことは、当人が、はた目に「かつこのよき」

社会教育からの提言

健康な青少年とスポーツ

気候もスポーツをするにふさわしい時期となり、休日には町内のあちこちからにぎやかな声が聞かれる。スポーツができるということは、人間にとってどんなにすばらしいことか――これも「健康」であるからこそできることである。

「健康」ということばの分析をしてみると―― ◎体が充分なこと、すこやかなこと ◎すこやか健康なこと ◎健全物の考え方や行いがかたよらず正しいようす――となる。つまり、この二文字は、心身ともにすぐれている状態を指すのであり、単に肉体的にすぐれている状態を意味していない証明でもある。スポーツが人よりできるからといって、満心したり有頂点になるのはあまりにもなまけなしいし、体に比例した心の鍛錬が欠けている証明であるといえる。

近ごろ、スポーツに堪能で体はすこぶる丈夫な若者が、つまらない服装をしたり、流行を追ったハダな風体をしている姿を見かける。このことは、当人が、はた目に「かつこのよき」

を気どってみせるのであるが、実際は、自己が持つ中味に気づかない気持の小さな独立心に欠ける若者に多いことは残念である。

一般的にもいえることであるが、相手を敬う、譲る、たたえる、いたわるという尊い心が形式化され、一時代前の正々堂々、清廉潔白のスポーツ精神の原則が、かけ声だけに終始しがちなことは、きわめて寂しいことである。スポーツ少年団、中・高校の部活動、社会人のスポーツクラブなど、余暇利用の方法に加えて、こうした身体活動が盛んになりつつあるが故に、身体を鍛える、技術を磨くこととあわせて、心の修養を忘れてはならない。当町にも種々の社会体育施設があるが、こうした施設の破壊、あともつ不徹底、スポーツ活動中の飲食など、マナーの欠如しているチーム、地区が見受けられる。こうした現状は、スポーツ愛好者として、早急に改めてほしいし、長年の積み上げをはかり、スポーツ団体としての正しいあり方を目指してほしい。そして、富士川町民として、心身ともに健康であってほしい。

今は、秋のたけなわである。

私たちが婦人消防隊が室野地区を火災から守ります

室野地区に火事などの災害が起こった時には、私たちが主婦が初期消火を――と、今年1月に室野自主防災組織の中に、当町では初めて婦人消防隊が誕生し、8月からは可搬式動力ポンプを独自に所有して訓練を重ねています。そこで10月17日、この室野地区の婦人消防隊をたずねてみました。

まず、この婦人消防隊が誕生した理由などを、谷津倉尚志区長にたずねると――私たちの室野地区は、現在二十六世帯が生活していますが、専業農家は一世帯で、他はみな男の人たちが会社などに勤めていて、昼間は婦人やお年寄り子どもたちだけになってしまっています。そういうことと、もう一年半くらい前になりますが、ボヤが起きた時に、婦人たちがバケツリレーで消し止めたことがありまして、こういうことから、昼間は婦

人たちにこの地区を守ってもらい、男の人たちが安心して勤めに出られるよう、結成をお願いしたわけです。そして動力ポンプは県の消防協会からいただくことができました――と語っていました。

また、同消防隊の望月和代隊長は――現在、二〇〇三〇代の婦人たちが十人で訓練をしています。やはり女性だけではポンプの構造などもよくわかりませんから、当地区の防災リーダーの望月実さんから指導してもらっています。で



作業服もおそろいで

も、このポンプは普通のポンプより軽量ですから、私たちがでもらうにかけられます。一つ欲をいえば、ポンプの倉庫が水源よりだいぶ遠くにあるので、水源の近くに建ててもらえればもっと行動もらくになるのですが、今後は、定期的に訓練を重ね、もっと機敏な行動がとれるようにしたいですね――と抱負を述べていました。

星の子



おのちへいってや



資料・東海地震 「蒲原地震山」の出現

左の図は、明治20年に測量された二万分の一地形図「蒲原」の一部です。現在の富士川クリーンセンターのすぐ南隣にある位置に「蒲原地震山」と書かれています。地図では、この区域は針葉樹の記号が画かれ、周辺は一面に水田の記号になっています。

「蒲原地震山」は、今から百二十八年前の安政東海地震のときに出現したものです。このことは、現在の東大地震研究所の前身である震災予防調査報告の記事に書かれています。

富士川は、地震前には元の岩淵村中之郷村から蒲原宿の河原通りを流れていましたが、地震による地殻変動によって、川の西側（富士川町・蒲原町側）が隆起し、反対に川の東側（富士市側）が沈下しました。そのため、川筋が

東へ移動したものです。昔の河原は陸地になったので、明治20年以前に水田化したのでしよう。地震山」のあたりは、ひときは高く土地が隆起していて、水田に必要な水が引けないため、開墾をあきらめたのではないのでしょうか。

富士川河口部での安政東海地震による地殻変動は、大変著しいもので、富士川断層を推定する有力な根拠となっています。みなさんも一度、現地を訪れてみてください。

恒石幸正

戸籍の窓

57・9・1〜9・30届出

おめでた

(敬称略)

区名	氏名	保護者	続柄	小池	塩坂	実歩	豊彦	長女	
小山	芦川	薫	照夫	長男	大柴窪	渡邊	高志	久志	長男
相生町	齋藤	陽子	仁	長女	本通一	深澤	好博	好宣	長男
旭町	齋藤	祐介	忠治	長男	幸町	志村	誕宣	武広	長男
川坂	佐藤	裕一	正博	長男	日の出町	石川	かおり	文雄	二女
宮町	杉山	圭佑	勉	長男	南町一	稲川	和晃	秀勝	二男
					〃	渡辺	尊之	貢	長男
					南町二	松野	哲也	峻	二男
					葦原町	清水	弘晃	聡	長男

一里塚



町をあげてのスポーツ行事では最大である「町民体育大会」が終ると、秋風の肌寒さが一層身にしみてくる。この時期から冬に向うにつれ、運動不足に拍車がかかり体内の血液の循環も悪くなり、風邪をひく人が増えてくる。こんなことをいっている私も「アレルギー性鼻炎」という、病気のようない病気がでないような、やっかいな代物を持っているので、要注意の時期である。

そこで、冬に向って私の風邪防止法を話してみると、とにかく体を動かす、体を柔らかくすることにある。これは、プロ野球選手な

ら自主トレーニングにあたるのだらう。そのかいがあって、毎年この時期になると風邪をひいては病院通いを繰り返す私が、去年は軽い鼻風邪程度で病院に通うこともなかった。そのため、共済組合からは「健康者」として、記念品をもらうことができたのである。仲間の中には、私が記念品を欲しくて病院にからなかったなどとい

やかす人もいるが、やはり「健康者」として記念品をもらった時には悪い気分はしないものである。これは、経験した人ならだれでも感じたことがあると思うが。

ところで、冬に向ってみなさんも、自分自身の健康維持のために何か目標をたて、それに向って努力してみよう。きつと好結果が出ると思います。(稲葉)

八幡町	上田	清隆	一雄	二男
清水町	高岡	幸子	善文	長女
〃	佐田	沙織	收	長女
大北町	宇佐美文俊	章	二男	
〃	宇佐美慶子	茂	長女	

かなしみ

区名	氏名	年齢
舟山町	望月	千鶴子 二七
南町二	鈴木	とみゑ 六三
八幡町	望月	肇 四八
大北町	鈴木	武雄 七七

善意銀行へ寄託

57・8・1〜9・30 (敬称略)

一万円 堀の内 鈴木 幸雄

編集後記

8月2日未明の台風一〇号で流出した国鉄富士川橋の下り鉄橋がその後の突貫工事で、10月15日、約二カ月半ぶりに開通した。当初の予定だと、開通するまでには今年いっぱいには必要——などといわれていたが、特殊工法が好結果をもたらしたからであろう。

当日は、午後4時23分ころ下りの一番列車が同橋を通過、東海道の大動脈が元にもどったわけであるが、二度とこのようなことは起こってほしくないものだ。

おかあさんの知恵袋

昼夜、一年中電力を消費しているのが冷蔵庫です。私たち主婦が冷蔵庫の正しい使用法を守り、省エネに心掛けたら、それも資源開発と同じ価値があると思います。そこで、今回は冷蔵庫をチェックすることにしました。

- ◎ドアの開閉は数少なく
- 一日十回の開閉で、一カ月二、十八・五円の損
- ◎庫内を整理して物を入れる
- 一日三回、一分以上開けると一カ月五十一・三円の損
- ◎不必要な物は入れない
- 庫内一杯に積めると半分のときに比べ、一カ月百九十円の損
- ◎熱いものはさまして入れる
- 一℃以上の霜がつくと四百七十五円の損(ビールなどは水につけておいてから入れる)
- ◎冷蔵庫の置き場所は直射日光やコンロの近くは避けて
- ◎放熱板のホコリは取るように埃があると一カ月七十六円の損
- ◎季節によって温度調節を
- 庫内を強にしておくと百四十二・五円の損
- ◎ドアのパッキンの老化は、一カ月四百七十五円の損
- 以上、合計一カ月二千五十五・三元の損となります。

富士川短歌会

9月詠草(天野寛選)

坂下 川口 久代
 通院のバスによるめきなお取れぬ
 ギブスの右手をいだちかばう
 本通 齋藤とし子
 五階なる病室見舞の幼子は高速道
 路見ゆと喜ぶ
 四十九町 塩川 恒子
 土流れ石あらわなる林道を夫は慎重にハンドルにぎる
 小池 中川しな子
 瀬の音にひかれて立てば谷あいには枝張る合歡の葉悉くとず
 新町本町 深沢千代子
 御来光おがまんとし出で来れば七面山に有明の月
 相生町 長谷川ゆり子
 あわれ深く読み直したる連載小説
 切り抜き綴る秋日の午後
 宮町 若月 幸江
 黄ばみ初む稲田を渡りくる風に雀
 おいいる朝のすがしく
 宮町 荻野 敏音
 二十年住みたる家を離る友夕やけ
 を背に芝を刈りおり
 木島 角替千鶴子
 台風の過ぎし朝の強き日にプロッ
 コリーの苗いたくしおれぬ
 小池 佐藤 ちよ
 藤の実の長くたるるをみつ過ぎ
 石段登れば秋蟬のなく